

# 「ふるさとの記憶」西沢今朝夷水彩画展

にしざわ けさい  
画家 西沢 今朝夷

長野市在住の水彩画家であった西沢今朝夷さんは、幼いころから絵を描くこととものをつくるのが好きで、小学校時代も図画・工作が得意だった。

敗戦の年、国鉄の工場に就職してからも、職場の美術クラブ（国鉄長野クラブ美術部）に入り、熱心に絵を学び続けた。

昭和26（1951）年に長野県美術展（県展）・日本水彩画展・一水会展・日展すべてに初入選し、画家として生きる決意が芽生えはじめ、その後、石井柏亭より指導を受け、個展の開催や県展・一水会展等での受賞を重ね、昭和46

（1971）年に画業に専念することを決意した。

その後も制作活動に励み、各地で個展を開催するとともに、一水会展を中心に多くの作品を発表した。また、作品の制作のほか水彩画教室での指導を通して、絵画の素晴らしさを次世代に継承していく活動にも力を注がれた。

## 作者略歴

西 暦	和 暦	事 項
1929	昭 4	長野市に、父西沢繁作・母柳の三男として生まれる
1945	昭20	国鉄長野工機部技能者養成所に入学
1948	昭23	国鉄長野工機部技能者養成所を卒業。職場の国鉄長野クラブ美術部のメンバーに加わる
1950	昭25	篠原新三を中心とする信濃みずえ会に参加 篠原新三に師事
1951	昭26	日本水彩展、長野県展、一水会展、日展にそれぞれ入選
1952	昭27	石井柏亭より指導を受ける
1957	昭32	一水会会員に推挙される。第二回個展（七富士画廊）を開催
1970	昭45	長野県信濃美術館で第一回個展を開催 以後「北信濃の風土を描く」のテーマで毎年開催（1985年まで）
1971	昭46	画業に専念するため国鉄を辞職
1972	昭47	長野県展審査員を務める（以後、複数回歴任）
1978	昭53	紺綬褒章を受章
1979	昭54	フランスで作画を行う
1980	昭55	日中友好美術家訪中団に参加（日本美術家連盟派遣）
1982	昭57	美術研究グループ邑樹会を設立・主宰
1984	昭59	一水会展で《河畔暮色》が会員佳作賞を受賞。北信美術会委員長に推される
1986	昭61	フランス、オランダに作画旅行。東京で初の個展（銀座ゆふきや画廊）を開催
1987	昭62	『西沢今朝夷画集』（邑樹会出版局）刊行
1997	平 9	おぶせミュージアムで「西沢今朝夷 水彩画の世界展」を開催
1999	平11	『画集 西沢今朝夷の世界』（郷土出版社）刊行 70歳にて一水会員を辞退（その後は、無所属（中央展）、信州美術会会員となる）
2006	平18	「ふるさとの記憶 西沢今朝夷水彩画展」を、北信濃ふるさとの森文化公園創造館（現中野市立博物館）で開催（以後、展示替えをしながら一般公開している）
2013	平25	長野県信用組合吉田店・中野店にて「ふるさとの記憶 西沢今朝夷水彩画展」を開催
2014	平26	逝去